

海外派遣研究者

年度	派 遣 者	研 究 目 的	派 遣 先
1956	小林理学研究所 森田 正人	原子核理論, 素粒子論の研究	アメリカ
	東京大学 教養学部 松浦 二郎	超ウラン元素の化学的研究	フランス
1957	東京大学 教養学部 小出昭一郎	結晶内における遷移金属イオンの諸性質の理論的研究	イギリス
	東京大学農学部 麻生 末雄	ラジオアイソトープの農学分野における利用	アメリカ
1958	立教大学理学部 伊藤 隆	生物体におよぼす放射線の影響	アメリカ
1959	東京大学大学院 数物系研究科 真隅 泰三	固体電子工学の基礎物理的研究	アメリカ
	東京大学 原子核研究所 磯矢 彰	サイクロトロンによる核反応の研究	アメリカ
1960	東京教育大学 理学部 池田 長生	放射化学, 分析化学に関する新しい知見, 技術的研究	ドイツ
	理化学研究所 佐田登志夫	機械工業における RI の利用	アメリカ
	東京大学 原子核研究所 菅 浩一	空気シャワーの研究	アメリカ
1961	東洋紡績(株) 技術研究所 上田 寿	放射線の固体高分子化合物中に生じたラジカルの電子スピン共鳴吸収による研究	アメリカ
	北海道大学 理学部 渡辺 宏	結晶内 ions を marker として local な性質を調べる	イギリス
1962	大阪大学理学部 近藤 道也	加速器, ことに A.V.F. サイクロトロンの研究	アメリカ
	電電公社 電気通信研究所 新井 敏弘	磁界中における半導体の光学的諸性質の研究	イギリス
1963	東京大学応用微生物研究所 金井 竜二	同位元素を用いた光合成機作の研究	ドイツ
1964	東京都立大学 理学部 金子洋三郎	原子衝突の実験に関する研究	イギリス

年度	派遣者	研究者	研究目的	派遣先
1965	ソニー(株)研究所	森垣 和夫	半導体内の電子状態の研究	フランス
1966	大阪大学理学部	溝淵 明	Van de Graaff 型加速装置を用いた原子核反応による核構造の研究	アメリカ
	東京大学大学院理学系研究科	香村 俊武	素粒子の原子核反応, 重粒子間の相互作用の研究	イギリス
1967	京都大学理学部	牟田 泰三	場の理論における複合粒子の条件	イギリス
	東京大学原子核研究所	黒田 育子	原子核(中重核)の多体問題的方法, およびその構造について研究	デンマーク
1968	東京大学理学部	池田 清美	原子核構造の種々の側面の理論的追究	ソ連, デンマーク
1969	東京大学理学部	山崎 昶	核磁気共鳴とその応用	ドイツ
1970	東京大学教養学部	林 憲二	素粒子論ハドロン表現	ドイツ
	東京大学原子核研究所	永野 元彦	(1)水平シャワーの観測と解釈 (2)空気シャワーの芯の研究	ドイツ
1971	東京大学原子核研究所	石原 正泰	インビーム γ 線を用いた原子核構造, 核反応の研究	スウェーデン
	東京大学物性研究所	栗田 進	イオン結晶の遠赤外レーザーによるサイクロトロン共鳴, および帯間磁気光吸収の精密な測定により励起子および電子のポーラロン効果を研究	アメリカ
1972	東京工業大学理学部	八田 一郎	誘電体の相転移の動的機構	イギリス
	東京都立大学理学部	広瀬 立成	反核子偏極の測定及び $\bar{p}p$ 消滅における多重発生の研究	ドイツ
1973	東京大学理学部	永宮 正治	原子核の励起状態の電磁氣的性質の研究, および核スピンの物質中での超微細相互作用の研究	アメリカ
	東京大学工学部	海老沢丕道	(1)第二種超伝導体の輸送現象 (2)量子液体の磁氣的性質の研究	アメリカ
1974	東京大学理学部	高木 伸	液体ヘリウム 3 の異常相の理論的研究	イギリス

年度	派遣者	研究者	研究目的	派遣先
1974	大阪大学教養部	大山 忠司	高密度励起子系における凝縮相の安定性とバンド構造の関係の研究	アメリカ
1975	東北大学 金属材料研究所	黒田 規敬	層状半導体における非線形磁気光学効果の研究	アメリカ
	大阪大学理学部	仲伏 廣光	二段二重収束質量分析装置による原子質量の精密測定-原子質量の精密測定用 RF 質量分析計の再建作業, およびこれによる原子質量測定の研究	オランダ
1976	東北大学理学部	新村 信雄	TOF 中性子回折法による過渡現象の研究	デンマーク
	京都大学理学部	松柳 研一	中重核における集団励起モードの微視的理論の研究	デンマーク
1977	京都大学基礎物理学研究所	山脇 幸一	光的量子化の特徴である波動関数を用いてハドロン共鳴の分類の研究	アメリカ
	大阪大学理学部	片山 信一	IV-VI 族化合物半導体の構造相転移の研究	アメリカ
	京都大学基礎物理学研究所	氷上 忍	相転移と臨界現象を理論的に研究	アメリカ
1978	筑波大学 物理学系	外山 学	原子核反応の機構についての研究	アメリカ
	東京大学理学部	小野 義正	超流動 ^3He の輸送現象の研究	アメリカ
	東京大学 宇宙線研究所	倉又 秀一	原子核乾板と他の測定器の複合装置を用いて行なわれるニュートリノ反応による新素粒子研究実験への参加	アメリカ
1979	大阪大学工学部	田口 常正	II-VI 半導体の格子欠陥の生成, 消滅機構の研究	イギリス
	岡山大学工学部	東辻 浩夫	高密度プラズマの理論	アメリカ
1980	横浜国立大学 教育学部	佐々木 賢	ノンレプトニック崩壊などの諸現象を量子色力学を用いて研究	アメリカ
	早稲田大学理工学研究所学生	玉田 雅宣	宇宙線を用いた超高エネルギー核衝突による新しい型の核相互作用の研究	ソビエト

年度	派遣者	研究者	研究目的	派遣先
1980	新潟大学理学部	鈴木 宜之	軽い核におけるクラスター構造と高励起エネルギーでの分子の共鳴	アメリカ
1981	東京都立大学理学部	遠藤 和豊	同時計数メスバウア分光法により、壊変によって生じる不安定な化学種の時間的推移をしらべる研究	ドイツ
	名古屋大学理学部	三宅 和正	超流動の物理の理論的研究	イギリス
1982	東京大学大学院理学系研究科	手嶋 久三	anomalous Ward identity における発散の処理の再検討及び dynamical Higgs mechanism の模型と100GeV領域の現象への反映	アメリカ
	大阪大学理学部	城 健男	磁気体積効果等の物性の研究及び photoemission の実験で得られている動的な現象の理論的研究	イギリス
1983	北海道大学工学部	住吉 孝	放射線化学初期過程の研究にピコ秒の時間分解能を有する電気伝導法を用い、従来からの種々の高速分光法とあわせて詳細な解明をおこなう	西ドイツ
1984	立教大学理学部	鈴木 昌世	電離放射線励起及び光励起に基づく希ガス・シンチレーション（混合系、凝縮層を含む）に関する実験的研究	スイス
	東京大学理学部	梁 成吉	格子量子色力学、クォーク・グルオンの力学系の非摂動的構造の解明	デンマーク
1985	京都大学理学部	清水 良文	高スピン状態における原子核の分光学的研究	デンマーク
1986	大阪大学教養部	川村 光	相転移現象の統計力学的研究	アメリカ
	理化学研究所	神原 正	加速器を用いた原子衝突過程の実験	西ドイツ
1987	東京大学教養学部	原 隆	構成的場の理論及び厳密統計力学	アメリカ
	東京大学大型計算機センター	吉永 尚孝	16 重極の自由度と相互作用するボソン模型	イギリス
	琉球大学理学部	中里 弘道	確率過程量子化法とその応用	デンマーク

年度	派遣者	研究者	研究目的	派遣先
1988	東京大学 教養学部	錦織 紳一	金属錯体をホストとする包接化合物の化学	カナダ
	東京大学理学部	松尾 泰	ひも理論の幾何学的量子化	アメリカ
1989	京都大学基礎物 理学研究所	武末 真二	可逆セルオートマトンの熱力学的振舞	アメリカ
	京都大学教養部	小林健一郎	Conformal Field Theory と String のコンパクト化	アメリカ
1990	東北大学理学部	高木 滋	希土類及びウランの化合物での重い電子系の物性研究	スイス
	東京大学 物性研究所	福山 寛	超低温・高磁場下での固体 ³ Heの核磁性	アメリカ
	慶應義塾大学 理工学部	高野 宏	ランダム・スピン系における緩和現象の統計力学的研究	イギリス
1990	高エネルギー物 理学研究所	石橋 延幸	二次元の場の量子論と弦理論	アメリカ
	京都大学基礎物 理学研究所	松尾 正之	原子核における大振幅集団運動の理論的研究	デンマーク
	新潟大学理学部	矢花 一浩	原子核理論	アメリカ
1991	大阪大学教養部	小堀 裕己	物性実験	アメリカ
	京都大学基礎物 理学研究所	菅野 浩明	重力理論	イギリス
	東京大学 教養学部	松田 祐司	高温超伝導実験	アメリカ
1992	高エネルギー物 理学研究所	野尻美保子	素粒子理論	アメリカ
	理化学研究所	小島 隆夫	低エネルギーイオン分子反応実験	アメリカ
	広島大学理学部 物理学科	大野木哲也	素粒子論	アメリカ
1993	広島大学理学部 物性学科	森 弘之	物性理論	アメリカ
	順天堂大学医学 部物理研究室	中田 仁	原子核理論	アメリカ

年度	派遣者	研究者	研究目的	派遣先
1993	学習院大学 理学部化学科	加藤 隆二	放射線化学	ドイツ
1994	東京大学理学部	立川 真樹	赤外ガスレーザーにおけるレーザー不安定の発生機構	アメリカ
	東北大学 科学計測研究所	松井 広志	極低温におけるヘビーフェルミオンの音響的ドハース-ファンアルフェン効果	イギリス
	東京大学 原子核研究所	綿引 芳之	ゲージ理論および格子理論による重力の量子化	デンマーク
1995	東京大学理学部	羽田野直道	量子多体系の基底状態相転移	アメリカ
	横浜国立大学 工学部	武田 淳	一次元絶縁体の光誘起欠陥状態に関する分光学的研究, 有機フォトクロミック化合物の光誘起相転移現象の研究	アメリカ
	茨城大学 理学部	西森 拓	砂地形の非線形動力学	デンマーク
1996	高エネルギー研究所	磯 暁	場の量子論と物性物理への応用	アメリカ
	ルイ・パストゥール大学	小田 玲子	荷電棒状ミセルの構造とその相転移	フランス
1997	N. B. I. 日本学術 振興会海外特別 研究員	佐藤 晴正	世界線形式に基づいた Bern-Kosower 規則の研究	ドイツ
	N. B. I. 日本学術 振興会海外特別 研究員	西垣 真祐	量子力学のカイラル対称性の破れのランダム行列理論による記述	アメリカ
1998	高知大学理学部	津江 保彦	ハドロン物質の相転移のダイナミックス	フランス
1999	早稲田大学D3 (学振)	長岡 克巳	超伝導針を STM 探針に用いた超伝導体表面の電子状態の観測	アメリカ
2000	京都大学基礎物 理学研究所	阪口 真	Brane の幾何学的定式化	イギリス

年度	派遣者	研究者	研究目的	派遣先
2000	東京工業大学 D 3	大友 明	ZnO 量子構造	アメリカ
2001	東京大学工学部	守田 佳史	二次元量子系における乱れに起因する臨界現象	アメリカ
	学習院大学理学部	矢野 陽子	液体表面の構造	アメリカ
2002	名古屋大学 D 3	住 貴宏	重力マイクロレンズを用いた銀河暗黒物質、銀河構造及び系外惑星の研究	アメリカ
	CERN 理論部研究員	西村まどか	超弦理論における双対性の超重力理論による研究	アメリカ
	姫路工業大学 理学部	長谷川太郎	イオントラップ中の冷却イオンと希ガス間のスピン移行の研究	アメリカ
2003	理化学研究所 協力研究員	中村 真	三次元イジングモデルを記述する弦理論	デンマーク
2004	日本学術振興会 特別研究員 PD	渡辺元太郎	高密度天体内部における非球状核の物質科学	デンマーク
	東京大学 D 3	酒井 一博	代数幾何的背景構造を持つ弦理論の非摂動論研究	フランス
2005	科学技術振興機構 プロジェクト 研究員	小野瀬佳文	遍歴強磁性体における異常ホール効果の研究	アメリカ
	日本学術振興会 特定国派遣 研究員	道下 洋二	時間依存性のある背景、弦の場の理論と D-ブレーンの力学	アメリカ
2006	東京大学大学院理 学系研究科	柳瀬 陽一	○スピン三重項超伝導の微視的理論 ○強相関電子系における磁性と超伝導の多重臨界現象	スイス
	名古屋大学大学 院多元数理科学 研究科	森山 翔文	超弦理論における AdS/CFT 対応	アメリカ

年度	派遣者	研究目的	派遣先	
2007	理化学研究所基礎 科学特別研究員	浅川 嗣彦	弦理論と D-brane の非可換幾何学的構造に基づいた新しい定式化	デンマーク
	理化学研究所協 力研究員	深谷 英則	厳密なカイラル対称性を保つ Dirac 演算子を用いた格子 QCD シミュレーションの実現	デンマーク

(派遣者の所属は派遣時のもの)